

## 令和6年度第2回新居浜市地域包括支援センター運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和6年10月3日(木) 14:00～15:30
- 2 開催場所 新居浜市消防防災合同庁舎5階 災害対策室
- 3 出席者  
委員： 吉松委員、白石(亘)委員、石橋委員、井手委員、伊藤委員、鴻池委員、  
佐々木委員、曾我部委員、高橋委員、宮内委員、山本委員、白石(亨)委員  
吉田委員(13名)  
事務局： 福祉部長：久枝  
介護福祉課長：山本  
地域包括支援センター：所長・宇野、副所長・矢野  
主査・伊藤、主任・近藤、保健師・大西、保健師・黒川、保健師・菊屋  
健康長寿コーディネーター・辰巳
- 4 会議内容
  - (1) 令和5年度事業実施状況と決算について
  - (2) 上半期の事業実績と次年度予算に向けた事業の見直しの方向性について
  - (3) その他
- 5 傍聴者 0人
- 6 議事録

事務局	<p>ただいまから令和6年度第2回新居浜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき、厚く御礼申し上げます。</p> <p>まず、本日の会議の出欠状況ですが、新居浜市連合自治会、久石様が都合により欠席となっており、委員数14名に対し、出席委員13名で、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条第2項の会議の成立要件であります、過半数以上の出席を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>続きまして、新たに就任いただいた委員さんをご紹介します。</p> <p>新居浜市医師会より、吉松安彦委員様。</p> <p>新居浜市介護支援専門員連絡協議会より、伊藤智恵美委員様です。</p> <p>それでは本日の議事について説明いたします。</p> <p>令和5年度事業実施状況と決算、上半期の事業実績と次年度予算に向けた事</p>
-----	---

	<p>業の見直しの方向性、その他について協議する予定でございますが、議事に移る前に、任期途中で会長が退任されておりますことから、会長を互選することになります。</p> <p>互選方法について何かご意見ございませんか。</p>
委 員	事務局一任
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局一任の提案がありましたので、事務局より提案させていただきます。会長には、新居浜市医師会吉松委員様にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
委 員	拍手
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆様のご賛同をいただきまして、会長に吉松委員様が選出されました。それでは吉松会長様、恐れ入りますが、前の席へ移動をお願いいたします。それでは吉松会長様、就任のご挨拶をお願いいたします。</p>
会 長	<p>吉松です。先ほどご挨拶させていただきましたようにこの協議会、初めて参加いたしますので不慣れなところがたくさんあるかと思いますが、頑張っ て努めていこうと思っておりますのでどうぞよろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、新居浜市地域包括支援センター運営協議会の議事を行います。議事の進行は、設置要綱第六条第1項の規定により、吉松会長をお願いいたします。</p> <p>吉松会長よろしくをお願いいたします。</p>
会 長	<p>それではお手元の議題に沿いまして、本日開催させていただこうと思 います。協議題（1）令和5年度事業実施状況と決算について、協議題（2）上半期の事業実績と次年度予算に向けた事業の見直しの方向性について、協議題（3）その他となっております。</p> <p>議事が円滑に進行できますよう、委員の皆様のご協力をお願いいたします。それでは協議題（1）について事務局より説明をお願いいたします。</p>

事務局	《協議題（１）について説明》
会 長	ありがとうございました。 ただいま、令和５年度事業実施状況と、決算について説明いただきました。 委員の方からご意見、ご質問はございませんでしょうか。
委 員	資料２の包括的支援事業の総合相談支援事業の地域包括支援センター相談件数が９０６件となっていますが、差し支えなければ、どのような相談が多いのか、一つ二つ聞かせてもらえませんか。
事務局	相談内容を表にまとめたものがあったのですが、今手持ちになく、はっきりとしたお返事が出来ず申し訳ありませんが、例えばですが、ご家族から、介護サービスを受けたいという相談をされる方や、認知症で家族が困っているという相談が多かったりします。
委 員	介護に携わる入り口、スタートラインのところの相談が多いということですね。
事務局	そうですね。 あと、よくあるのが近所の方、民生委員さんとかが、近所の方でこういう方がおられるので困っている、ちょっとよかったら見に行ってくれませんかとかいう形で、ご相談される場合もあります。
委 員	ありがとうございます。なぜ聞いたかという、近年よく言われているヤングケアラーの問題に関連して聞いたかったのです。例えばお宅を訪問している、ケアマネさんやヘルパーさんが、自宅の中に、ヤングケアラーと言われるような子供たちがいるかもしれないといった情報提供があるのかなと思って聞いてみたのですが、まだそういった対応はないということですね。
事務局	そうですね。おそらく困難ケースになると、多分そういう家族の中で、お子さんが、ヤングケアラーになっている場合が考えられますが、入口の介護サービスを導入の部分では、そこまでの相談はないかと思います。
会 長	その他ございますでしょうか。
委 員	私のいる角野校区で去年の１１月と１月に認知症の方が行方不明になって探

	<p>したことがあったのですけれども、11月の時は、この認知症事前登録者の情報が協力機関にメールで送られてくるはずだったのですが、何か不具合があって、民生の会長は、機関登録で会長が登録しているのですが、私の方に送られてきませんでした。ちょっと包括さんに、どうしてかなと問い合わせに行ったときに見せてもらったら、何年も前の民生委員の会長のままに、この登録機関のお名前がなっている方が結構おられたのですけれども、この協力機関の登録内容や、亡くなった方の情報など見直しはされているのでしょうか。あと、11月の方は、お写真があったので、すぐ見つかったのですが、1月の方は、写真登録がなく、お名前とその対象者の様子だけだったので、この写真登録があるのはいいなと思ったのですが、写真も若い時の写真とか、つい最近の写真を登録してくれたら、より探しやすいなと思いました。以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。 事務局の方からこの登録の状況について、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>登録者の方は1年に1回、変更ないかどうかという確認をさせていただいているのと、先ほどあった写真については、最近のものを、申請の時には上げてもらうようにしていただいているかと思うのですが、登録機関、協力機関のところについては今、どの程度、更新しているかというところが、わかりかねますのでまた後日改めてお答えさせていただけたらと思います。変更の仕方など、確認しておきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。 何年前に作ったかちょっとわからないのですが、協力機関に医療機関とかも入っていると思うのですが、新しくなった医療機関とかいろいろあると思いますので、やはり見直しが必要ではないかなと私も思いましたのでよろしくお願いします。 それではその他ございますでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>認知症の方々の認知症になる前の生活とか、近所での見守りということで、サポーター養成が年々、数字的には非常に伸びてるのですが、対象者がほとんど子供さんとか学校関係者で、数としては伸びるんだけど、この方達をどんなふうにフォローしたり、また地域活動に巻き込んでいるかっていうふうな、何かエピソードがあったら、一つ一つの事業がバラバラではなくておそらく繋がって企画をされていると思うので、若い人たちの力を活用しよ</p>

事務局	<p>うと思っている辺りが伺えたらいいなと思って質問いたしました。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>おっしゃっていただいたように、現在、小中学校での開催がほとんどということになっているのですが、小学校では、大体5年生6年生あたりで受講していただいて、中学校は1年生だったり3年生だったりということで、1人、小学校と中学校で2回は受けていただくようになっているので、子供たちとしては、2回受けることで、大人になるまでの間に、少しでも認知症のことを知っていただけたらということで開催をしております。</p> <p>学生さんについてはそのあと、何か具体的にという取り組みは現在ないのですが、一般の認知症サポーター養成講座、基本的に出前講座で、依頼があったらですが、包括主催で、年に1回行っているものに関しては、実施後のアンケートで、今後、ボランティア活動ですとか、認知症に関することで、活動できるような、意向はございますかというような質問を用意させていただいて、そこにお答えのあった方については、この後のチームオレンジの話にも繋がるのですが、ステップアップ講座というものを行って、ボランティア活動に具体的に繋がるように、今年度から募集をかけたり、講座を行っておりますので、もう少しそこが軌道に乗って広がっていけば、このサポーターの数だけではなく、具体的な活動に繋がっていくと思いますので、そのあたりの調整ですとか、マッチングの辺りを、これから力を入れていかないといけないと思っていますところ です。</p>
委員	<p>検討中ということですね。例えば学生祭とかバザーとか、いろいろな形で動くときに、皆さんにアピールをしたり、それから、いろいろな形で署名活動などをされているので、ぜひ、せっかく育った子供さんたちに、一旦聞いて、それで終わらないような、底上げの仕方をぜひ頑張っていただきたいなと、そのように思いました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>その他ございますでしょうか。</p>
委員	<p>新居浜市独自の取り組みだと思うのですが、市民体操指導士ですかね、令和元年から立ち上げて、育成をされているということですが、活動されている方も、数が増えています、どんなふう活動されているかっていう具体的なところでは、普及啓発とか、イベントごとでされるとかいうふうなこと</p>

	<p>がありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>市民体操指導士の皆さんですが、3年ごとに養成をしております、すでに養成している方達に関しましては、主にはPPK体操を市民の方に指導するところのサポートをしていただいております。PPK体操の拠点に行ってください、特に開設して1年半以内の初期の拠点の方に、体操指導する際のサポートに回っていただくことが多いです。</p> <p>あとは、包括の職員が主催するPPK体操の体験会の方でも、体操を全くしたことのない方がたくさんいらっしゃいますので、そちらにも市民体操指導士と一緒にご参加いただいて、初めてPPK体操する皆さんに、体操を指導していただいたりというところのお手伝いをさせていただいております。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>大分前にも、地域で体操普及とかお手伝いをされている集落があって、包括の実績報告でも伺ったことがあるので、根っこにあるのは、ずっと前から少しずつ育っていたと思うのですが、せっかく育成をされているので、ぜひ、フレイル予防とか、そういったところで、地域に根差していただけないかなど。自治会館、その他でのサロン活動とかいろんなものも増えていると伺っているので、また頑張ってくださいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>その他ございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私たち民生委員は、総合相談支援事業が一番気になるところなのですが、令和5年度の総合相談支援事業を見たら、ブランチさんに相談した件数が前の年よりも少ない889件で、すごく減っているのですが、私たち民生委員もブランチさんに相談しようかな、それとも包括さんに言った方がいいのかなと迷う時があるのですが、最近、角野なんかは、ほぼブランチさんに言っているのですが889件というのは、18校区にしたら少ない件数じゃないかなと思うのですが、そのところお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちら、備考にもあるのですが、令和4年は1949件とかなり多いのですが、統計を取る際に、連携の件数ですとかそういったものすべて含めた件数になってしまっておりましたので、令和3年度4年度についてはちょっと大きな数字になってしまっております。</p>

	<p>令和5年度の889件は、純粋な相談件数ですが、これと同じ基準で計算した際には、令和4年度は1197件、令和3年度は1342件なので、3年度4年度に比べると確かに少し少ないですが、正直いろいろな相談があって、ランチさんによっても受け取り方も若干の違いが出てくるので、純粋に比較は難しい部分もあるのですが、今現在、ランチさんとの共通認識が図れるように、毎月のランチ連絡会で、いろいろな意見交換や協議を行って、その辺を統一した取り扱いができるようにしている最中でございます。</p>
会 長	<p>その他ございますでしょうか。</p> <p>それでは続きまして協議題2の方に移りたいと思います。</p> <p>上半期の事業実績と、次年度予算に向けた事業の見直しの方向性について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《協議題（2）について説明》</p>
会 長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から、事業実績と、次年度予算に向けた事業の見直しの方向性について説明いただきました。</p> <p>委員の方からご意見がございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>さまざまな事業に取り組まれていて大変だとは思いますが、成年後見制度のことですが、包括さんに伝えたらいいのかどこに伝えたらいいのかわからないのですが、後見の相談ということで、私のところにも時々、ケアマネさんや一般の市民の方からの相談が寄せられるのですが、私の体感といたしましては、成年後見制度の基本のきの部分すらわかっていない方が大勢おられるなど。ケアマネさんを中心に何度も研修会やレクチャーなどしてきましたが、まだまだ十分皆さんに伝えきれてないと感じています。具体的に言うと、成年後見の手続きをしないといけない窓口が市役所だと思っている、本当は家庭裁判所なのですが、認識違いといった方がまだまだ大勢おられるということを感じています。もし、今後こういったことで、研修会など開催できるようでしたら、包括主催でもいいし、ヘルパー協会、ケアマネ協会、民生さんでもかまいませんので、お声掛けいただいて、一人でも多くの方に、成年後見制度の正しい知識を普及できたらと思っておりますので、そういった取り組みもご協力いたしますのでよろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。また、課内で検討させていただきます。</p>

会 長	その他ございますでしょうか。
委 員	<p>角野見守り SOS ネットワークといいまして、平成 27 年にできたんですけれども、その事務局長をしております。</p> <p>見守り SOS ネットワーク協議会では、三つのことを柱にしておりまして、一つは検索活動ということで、小規模模擬検索訓練っていうのを年に 2 回し、それから支援活動として、ふれあいサロン、認知症の方やそのご家族の方のいっときの憩いの場ということでサロンを、今月で第 88 回になります。</p> <p>それから、広報活動として、SOS ネットワークの新聞を作ったり、それからふれあい劇団というのをしています。</p> <p>ふれあい劇団なんですけれども団員さんが 15 名おり、講演が、60 回目ぐらいに今度なります。</p> <p>今月 3 回も講演があるんですが、今月は東温市の老人クラブさんが来てくださるといって見ていただこうと思っております。</p> <p>それから、劇団のこんな DVD も作りました。</p> <p>この劇なんですけれども、今度 7 話目に、お財布がなかったり、おばあちゃんがなくなったりとかいろいろパターンがあるんですけど、7 話になって、7 話でこの浦島太郎おじいさんになったんですが、これを劇にするよりも、本にした方が小学生とか、幼稚園児さんとかみんなわかりやすいんじゃないかなということで、絵本にしました。</p> <p>会場が広いところではプロジェクターに映してさせてもらっています。</p> <p>包括さんで、委託金いただいた一部を、資金にさせてもらって、小中学校、公民館などに、500 冊印刷して、寄贈させてもらって、残りは今、1 冊 500 円で販売しています。</p> <p>先日インタビューもしていただき愛媛新聞に掲載してもらったので、その記事も今日載せさせていただいています。</p> <p>お年寄りのサロンや、幼稚園だとかそんなところで、活用してもらったらいいなと思っています。</p> <p>この本の文章を書かれたのは、SOS ネットワーク協議会の会長の、福田さんって言われて、息子さんが小説家されてる方なので、すごく文章が上手で、さすが小説家のお父さんだなと思うんですけど、文章上手に書いている。</p> <p>絵は、角野図書館の司書の方が絵が上手だったんで書いてもらって、作成しましたので皆さんぜひ持って帰って読んでください。</p> <p>以上です。</p>
会 長	どうもありがとうございました。その他ございますでしょうか。



委 員	<p>認知症サポーター養成講座について、先ほども、認知症サポーターの人数のことを聞かれてましたが、今現在、サポートする人っていったところが、やっぱり増やさないといけないのかなって思うんですけども。</p> <p>当院の住友別子病院で、委員会がありましたので、こういう講座を、企業だったら出向いてくださり、10名以上参加があれば、開催してくださるということをお聞きしたので、事務職とか、そういったところに関わる人に参加しませんか？とお声をかけたところですね、そういうものがあるんですか？っていったところでした。</p> <p>周知度が少なかったな、足りないのかなって思ったのですが、こういう講座があるとかそういったところの広報はどのようにされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>講座については、市のホームページの掲載ですとか、今年でいいますと、認知症ケアパスだったり、認知症初期集中支援事業のチラシの配布というところで一緒に、認知症サポーター養成講座のチラシを入れさせていただいて、医療機関や、公民館に配布をさせていただく準備を今してるところです。</p> <p>確かに認知症サポーター養成講座自体の周知をもう少しできたらと思っておりますので、今後も市のホームページや、市の公式のライン等 SNS を活用して、周知をしていきたいと思っております。</p>
委 員	<p>やはり調剤薬局とかそういう医療機関って言ったところをピンポイントで、ターゲットとしてねらっていてもいいのかなとは思いましたので、また、告知を広げてください。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会 長	<p>その他ございますでしょうか。</p>
委 員	<p>意見や質問ではなく、希望なのですけれども、これだけたくさんの方の事業を、本当に少ない人数の中で、毎日目まぐるしく動いていらっしゃるということが、本当に大丈夫なのかなと思うくらい、多面的に動いていらっしゃいます。</p> <p>その一方でセンター長さんもおっしゃったように、人がいない、途中採用っていうふうなことが起こっているということで、ぜひ、この事業をしっかりできる、人の確保、全国的な問題ではありますけれども、頑張ってくださいというのと、今日ご報告いただいて、実施したことはわかったのですが、それを市民がどう受けとめて、こんな反応があったよとか、評価</p>

	<p>をしてみたら、こういう成果が出ましたよっていうふうなことが、1年2年積み上げていったときに、この会なり、また地域住民にお返ししたりすることによって、全体がレベルアップもすると思うので、忙しいとは思いますが、全体の中でこれぞと思うようなエピソードを、この会でもぜひ聞かせていただいたりして、頑張っておられることが、みんなに知ってもらえて、また事業が拡大していくような、そういうふうにできたらいいなあと、たくさんの委員さんが集まっておられるので、また力を貸していただくということもあっていいんじゃないかなとか思いながら、ぜひ頑張りたいと、ちょっとエールを送るつもりで発言をさせていただきました。</p> <p>したことだけじゃなくて、できたこと、どんなふうにしたのかっていうことが、おそらく市民の方にも広がっていくと、協力者も出るんじゃないかなと。</p> <p>先ほど、おっしゃっていましたが、新聞に体操出てるなって、私も思ったんですけども、やっぱり住民にも知らせて、関係者にも知らせていくといいなと思ったものですから、意見として発言させていただきました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他ございますでしょうか。</p> <p>なければ、私のほうからよろしいでしょうか。二つあるのですが、一つが3ページのところの、認知症総合支援事業の認知症初期集中支援事業、昨年が1人で今年がゼロということで、これは多分支援チームの方で対策が練られてるだろうとは思いますが、もうちょっと増えてもいいのかなという感じもするのですが、ここに持っていく何かそういうハードルが高いのか、それとも、全部ここにいかなくても解決しているのか、そこを教えていただきたいのが一つです。</p> <p>もう一つが、医師会の往診訪問診療に関するアンケート結果ということで、64医療機関のうち、可能である、それから条件によればっていうのが35医療機関もあるというのに、往診してくれるところがたくさんあるなというのが実感で思いました。</p> <p>去年多分アンケートが来たので、医師会の先生方、忘れていると思うのですが、具体的にはいつごろから、どんなふうにインタビューされるのか、どういう計画があるのかわかればそれも教えていただいたら、医師会の方に連絡を前もってしておけば、皆さん対応がしやすいのかなと思いましたので、その2点お願いします。</p>
事務局	<p>まず、認知症初期集中支援事業に関してです。</p>

	<p>ご指摘の通り、本当に人数が、去年今年は少ないところではあるのですが、令和5年度に関してはこの事業にかけてはどうかというような相談は7件あったのですが、そのうち、事業に繋がったのが1件ということで、他の6件に関しては、ご家族が介入を望んでいなかったりですとか、通常のケース対応ということで包括支援センターの相談支援係の職員が、通常の対応として、対応を続けてしているというところがあったりですとか、そもそも受診に繋がったりってというようなところで、去年の6件は、このチーム対応にはなっていないというところがあるかと思います。</p> <p>今年度に関しても資料の時は、相談者2件だったのですが、現時点では4件、こちらにも相談はあるのですが、こちらに関しても、ご家族の同意が得られないですとか、この事業が6ヶ月で、短期的にっていうところがあるんですけども、もう少しゆっくり本人さんとご家族さんのタイミングを見て、支援した方がいいだろうというようなケースがあったりしまして、チーム内で、その都度相談があったら、チーム対応になるかどうかというところは検討しているのですが、なかなかこのチーム対応というところには上がってこないかなというところで、包括の中で、対応できているというふうにも言えるのかなとは思いますが、周知の方もまだまだしていかないといけないところもございますので、今年度、チラシの修正やホームページの更新もいたしましたので、周知をしながら、相談があれば、その都度ケース対応にするのか、通常の対応にするのかというところは、今後も検討していきたいなと思っています。</p> <p>お答えになっているかわかりませんが、よろしいでしょうか。</p>
<p>会 長</p>	<p>わかりました。</p> <p>認知症支援チームとして、繋がらなかったケースに関して、これこれ繋がらなかったとかいうのを、話をする場っていうのはあるんでしょうかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域包括支援センターの職員で、チーム員研修を受けている職員がおりますので、その中で、ケース対応については検討して、チーム対応になるかどうかというところと、その後の報告ですとか、対応について協議をしております。</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>往診訪問診療に関してですが、仰ってくださったように、昨年度年末ぐらいにこのアンケートを実施させていただきまして、もう少し早くインタビューの方をしたかったのですが、こちらの作業がかなり遅れてしまいまして、今</p>

	<p>年 9 月 10 月にインタビューを皆さんにさせてもらおうとしているところではあります。</p> <p>ブランチさんにも入ってもらうよう、担当を割り当てましたので、遅くとも、11 月までには 35 施設の方にインタビューさせてもらい、先生方に承諾を得てケアポータルの方に掲載させていただきたいと思っております。</p> <p>ケアマネさんやケアマネさんが関係している方たちが、どこが往診や訪問診療していて、どこにアプローチしたらという所が、なかなか難しいというところがあると思うので、その方たちにもきちんと情報を伝えられるように、先生にもインタビューで確認を取らせてもらって、ケアマネさんたちが訪ねてきたときにはきちんと答えられるかっていうところの確認をして、情報を提供できるような状態にしたいなと思っております。</p>
会 長	はい、わかりました。9 月から始めておられるということですね。
事務局	なかなか進んではないと思いますが、始めております。
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他何かございますでしょうか。</p> <p>それでは続きまして協議題 3、その他につきまして事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>今回の運営協会、協議会につきましては、来年の 2 月に予定しておりますが、後日、会長さんと調整させていただいて、日程が決まり次第、委員の皆様にご連絡したいと考えております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>予定しておりました議事は終了いたしました。</p> <p>ご協議いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして本日の会議は終了とさせていただきます。</p> <p>ご苦労様でした。</p>